

行事報告書(研修)

報告者:森永啓司

行事名	2024年3月度自然観察会
実施日時	2024年3月7日(木曜日) 10時～13時 天候:曇り
場所	箕面の森 遊歩道周辺
テーマ	箕面の森の地形、地層、岩石観察
講師	軸屋宏子さん
参加者数	24名

1. 観察コース

阪急箕面駅(10時)⇒(泥岩、流紋岩、チャート岩盤の観察、岩石の採集)⇒一の橋周辺⇒龍安寺(石垣、玉砂利の観察、資料の説明)⇒唐人戻岩(砂岩)の観察⇒滝(緑色岩、泥岩、断層など資料の説明)⇒昼食⇒解散(13時)

2. 本日の目標

- (1) 花崗岩と流紋岩の区別(どちらも火成岩)をする。
- (2) チャート、泥岩、砂岩がわかる。(どちらも堆積岩)



流紋岩



花崗岩



泥岩



チャート

3. 本日判った事

(1) 岩石は大きく3種類に分類される。

- ① 火成岩・・・花崗岩、流紋岩、安山岩、玄武岩 など
- ② 堆積岩・・・砂岩、泥岩、頁岩、チャート、石灰岩 など
- ③ 変成岩・・・緑色岩、緑色片岩、蛇紋岩 など

(2) 付加体って何？

日本列島が未だ大陸の東端に位置していた頃、海洋プレートが大陸のプレートに沈み込む際、その上面にあった堆積物が陸側に押し付けられて乗上げて出来たものを言う。

(3) 箕面の地層は？

- ① 滝の辺りまでは丹波帯と呼ばれる地層
丹波高原から北陸地方にかけて広く分布し、泥岩、砂岩、チャート等を多く含み、海底からマグマの貫入により花崗斑岩、流紋岩が観られる地層も有る。
- ② 滝より北の地層は超丹波帯と呼ばれる地層
丹波帯よりも古い地層で、主として泥岩と砂岩から成り立つ。

(4) 箕面の滝の由来は？

硬くて緻密な緑色岩で出来ているので、比較的柔らかい泥岩は浸食されても緑色岩は削られずに残り、大きな落差のある滝を作ったと考えられている。



石垣に群がる人達



付加体って何？

4. 感想

何時も観察する草本、木本には眼もくれずに、ひたすら河原に見られる大きな岩石に見入り、道端に落ちている小石を拾い、お寺に積まれた石垣を観察し、時としてはハンマーで小石を割りながらアレコレと岩石談義に花が咲き、あつと言う間に時間が過ぎ去りました。△は普段行く事の少ない滝の前で由来を聞き「なるほど！」と感心して研修は終わりました。軸屋さんお一人で大変お疲れ様でした。



皆さん「ハイ チーズ」で最高の笑顔！